



Title	大阪大学 日本学報 第43-44号 執筆者紹介/編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	日本学報. 2025, 43-44, p. 111-112
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/101376">https://hdl.handle.net/11094/101376</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

### **執筆者紹介**（掲載順）

安岡健一（やすおか・けんいち）大阪大学准教授

マイケル・フリッシュ（Micheal Frisch）バッファロー大学名誉教授

菅豊（すが・ゆたか）東京大学教授

菊池信彦（きくち・のぶひこ）国文学研究資料館准教授

石川良子（いしかわ・りょうこ）立教大学教授

五月女賢司（さおとめ・けんじ）大阪国際大学准教授

角田実玲（つのだ・みれい）大阪大学文学部（日本学専修）卒業

草替春那（くさかえ・はるな）大阪大学文学部（日本学専修）卒業

上垣皓太朗（うえがき・こうたろう）・松江彩花（まつえ・あやか）・

草替春那（くさかえ・はるな）・野村琴未（のむら・ことみ）・

平井彩翔（ひらい・あやか）大阪大学文学部（日本学専修）卒業

### **編集後記**

フリッシュ先生をお迎えして開催した国際シンポジウムからもう半年が経ちます。日本では自分がいかなる「オーソリティ」を持つか、という議論はやりにくいかもしれません。しかし、社会的役割や責任を考えるうえでは、不可避でしょう。本号の特集が、これから議論をすすめる手がかりになることを願います。また、卒業論文と「対話と方法」も掲載できました。角田さんは2年間、お待たせしました。上垣さんには在学中に原稿を準備いただきました。ゼミ旅行を懐かしく思い出します。なお、草替さんの論文は10万字をこえる作品だったので要旨のみの掲載になっています。執筆者の皆さん、そして編集を主に担当してくれた秋山先生、ありがとうございました（安岡）。

# **大阪大学 日本学報**（第43・44号合併号）

2025年3月31日発行

編著………大阪大学大学院人文学研究科現代日本学研究室『日本学報』編集委員会

発行………大阪大学大学院人文学研究科現代日本学研究室

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

編集協力…秋山かおり

印刷………ドラゴン印刷

